

団体対抗リレーで3位入賞！

- 東京弁護士会 主催・大運動会にて -

大和土地建物株式会社

山口 和 範

11月3日.....1946年に日本国憲法が公布され、「文化の日」として祝日となったこの日は、晴天となる確率が高いことで10月10日と並び称せられるらしい。

それを見込んでか、東京弁護士会は毎年この日に六義園で大運動会を行っており、42回目を迎える今回、初めて東京不動産鑑定士協会がこれに参加することとなった。

我々が招待された種目は、この大会のメイン・イベントである「会内会外団体対抗リレー」なるものであった。これは弁護士会の各種グループのみならず、検察官や公認会計士、税理士、司法書士、行政書士といった会外の団体も参加しての対抗リレーであり、各団体の威信を懸けた(?)、まさしく「さむらい(士)の真剣勝負」であった。参加団体は結局10チームを数え、コースの関係でレースは2組の予選に分けて行われた。

予選1組を走ることになった我々は、初出場の遠慮もあらばこそ、2走でトップに躍り出るや、そのまま独走態勢に持ち込み、断トツの1位でテープを切った。

中学時代にバトンミスで失格経験のある私も、走る前は当時の状況がトラウマとなって脳裏を掠め、一抹の不安を覚えたが、ゾーン内で「ピタッ」とバトンが掌中に収まるのを感じてからは、スミスやミッチェル顔負けのコーナリングをこなし、ルイスに託すが如くアンカーの背を押して送り出した。そのぐらい気分良く走れたレースだった。

そして決勝は、各予選の上位3チームによる、6チームで争われた。

進行の関係で予選とのインターバルをあまり取れなかったこともあって、さすがに各選手疲れの色を隠せなかった。

そんな中、予選2組で上位を独走した公認会計士協会と法曹野球クラブは決勝でも元気が良く、再びトップ争いを演じ、そのままゴールへとなだれ込み、我がチームも何とか彼らに食い下がって、どうにか3位に滑り込むことができた。なお、決勝の順位は、1位：公認会計士協会、2位：法曹野球クラブ、3位：東京不動産鑑定士協会であった。

我がチームは、惜しくも「初出場初優勝」は逃したものの、招待選手ということで無料で参加させてもらい、しかも3位入賞ということで賞品を山ほど頂戴して、まあ、岸朝子調にコメントするなら、「この大会、ほんのりお上品というか、全体としてはおいしゅうございました。」

<リレー代表メンバー（敬称略）>

- 1 走（200m）松井秀和 〔(財)日本不動産研究所〕
- 2 走（100m）森田信也 〔有楽土地(株)〕
- 3 走（100m）杉田洋一 〔交通公社不動産(株)〕
- 4 走（200m）山口和範 〔大和土地建物(株)〕
- 5 走（200m）高井隆一 〔都市不動産鑑定(株)〕



スタート前の選手達